

地震防災調査からうかがえる、人々の防災意識の低さ

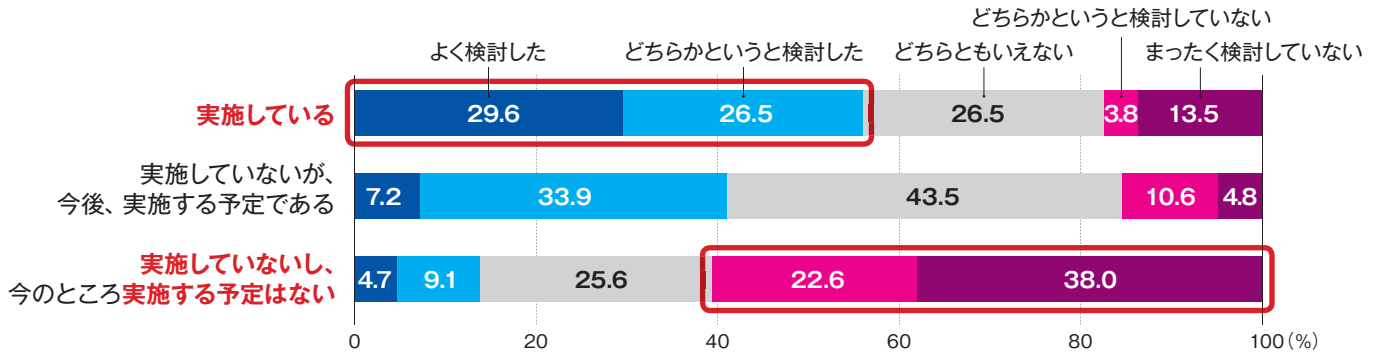
NRIがインターネット利用者に「地震防災対策に関する意識調査」を行った中で、耐震改修の実施に対してどれだけ検討して判断したかを尋ねました。実施

したという人の6割以上は、きちんと検討していましたが、実施しないし行う予定もない、と答えた人の6割以上は、きちんと検討せず結論を出していました。

耐震改修が必要かどうかをよく考えず、安易な結論を出していることがうかがえるこうした人々の意識は、防災を進めていく上で大きな課題だといえます。

耐震改修の実施・不実施に対する検討の有無

耐震改修を実施するかどうか、十分に検討したかどうかを調査した結果 (N=2500/SA)



出所) NRI「地震防災対策に関する意識調査」
インターネットアンケートにより2009年8月1日~2日に実施

「実施しない」と答えた人の6割以上は、ほとんど検討せずに結論を出している

注目トピック

「非接触IC活用サービス」——インフラの課題

電子マネーを筆頭に、急拡大を続けてきた非接触ICを活用したサービス。しかしこのサービスは、インフラコストの高さに加え、決済サービスとCRM・販促ソリューションとの連携が不十分といった構造的な課題を抱えています。インフラの端末機

器やネットワークなどを関連事業者と共通化することが、コスト削減となり、同時に利用者の利便性も向上するので、今後の成長に必要なだとNRIは考えます。

詳細: NRI公式ホームページ>NRIオピニオン>NRI Knowledge Insight>Vol. 5

「ロシアビジネス」——企業に求められる基礎体力

ロシアは、イギリスやドイツなどに肩を並べる市場へと成長してきました。それに伴い、他人資本による通関から、自社での通関への移行が進展しました。ロシアなどの新興市場では、顧客ニーズが非連続に変化します。そのニーズをモニタリングす

る仕組みが重要ですが、需要が落ち着いた今こそ、自社通関モデルも含め、商流・物流改革の好機とNRIはとらえています。

詳細: NRI公式ホームページ>NRIオピニオン>知的資産創造>2009年5月号